が決壊するなどの洪水(外水はん濫)

が発生するおそれがあります。



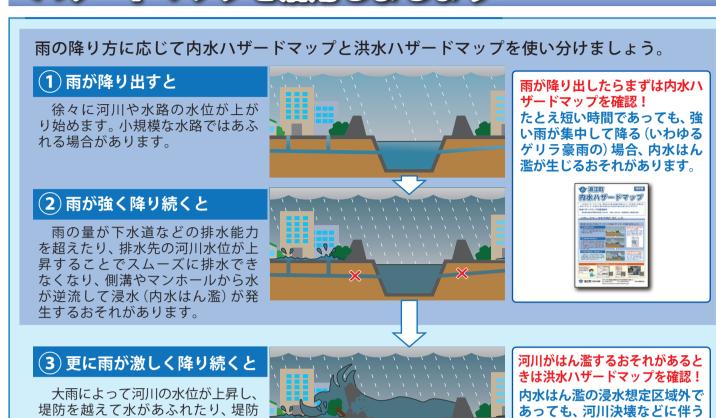
|浸水 (外水はん濫) が生じる場|

合があるので注意しましょう。

この内水ハザードマップは、想定される最大規模の降雨により、下水道などが雨水を 排水できなくなった場合に浸水が想定される区域や浸水の深さを示すものです。 内水ハザードマップの想定条件

国の基準で定められている想定最大降雨量120mm/hで作成したものです。 (参考: 令和元年東日本台風の浪江町における最大雨量は41.0mm/hです。)

ハザードマップを活用しましょう





1. 水害を知る

大雨をもたらす現象

積乱雲の発達

「大気の状態が不安定」なとき(上空に冷たい空気、 地上に温かい空気の層があるとき) に発生します。



真っ黒な雲が 急に冷たい風が 近づいてくる。 吹いてくる。

まもなく、激しい雨と雷がやってきます。 河川や低い場所からすぐに離れましょう。

前線の停滞、台風の接近

日本付近では6月頃に梅雨前線、9月頃 に秋雨前線が停滞します。また台風は、 👧 進行方向に向かって右側が特に危険と

線状降水帯

線状降水帯とは、次々と発生する発達した雨雲(積話 雲)が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間 にわたってほぼ同じ 場所を通過または停 滞することで作り出 養 積乱雲を動かす風 される線状に伸びる 長さ50~300km程度、 幅20~ 50km程度の 強い降水をともなう 雨域です。 線状降水帯を作る原因となる。

大雨による被害



面に水たまりができる。

大雨が降ると、道路 側溝にゴミなどが詰ま り、うまく排水されず、 道路に水がたまります。



川の水位が上がると 水路が流れにくくなり、 浸水します。



大雨が降ると、床上 浸水、床下浸水のおそ



きであたり一面が白くな

り、視界が悪くなる。

川の水位が上がり、 堤防を越えたり堤防が 切れて、水が流れ出て 浸水します。



たように降る。道路が川

のようになる。

-2-情報を収集する

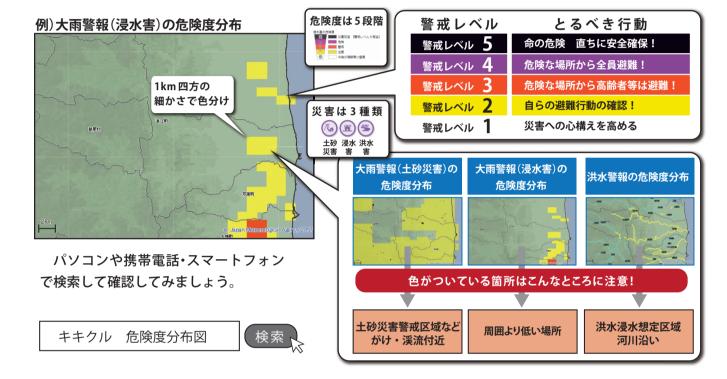
警戒レベルと避難情報

大雨のときには、自ら情報を収集し、どのような避難行動をとるか考え行動することが 重要です。 適切な避難行動ができるように、5 段階の「警戒レベル」 を用いて、 一人ひとり がとるべき行動を平時のときから考えておきましょう。

警 レベル	避難情報など	状 況	住民がとるべき行動	防災気象情報 ※ (警戒レベル相当情報)				
5	 緊急安全確保 (町が発令)	災害発生又は切迫 ・避難所などへの避難が 安全にできない可能性 がある状況。	命の危険 直ちに安全確保! ・命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保する。	・大雨特別警報 ・氾濫発生情報 ・キキクル (危険度分布) 「災害切迫」(黒)				
~	~~~~~~~ 《警戒レベル4までに避難!》 ~~~~~~							
4	避 難 指 示 (町が発令)	災害のおそれ高い ・河川の水位が氾濫危険水位を超えている。 ・土砂災害警戒情報が発表されている。など	危険な場所から全員避難 •危険な場所から全員避難する。	・土砂災害警戒情報 ・氾濫危険情報 ・キキクル(危険度分布) 「危険」(紫)				
3	高齢者等避難 (町が発令)	災害のおそれあり ・河川の水位が避難判断水 位を超えている。 ・土砂災害のおそれが非常 に高まっている。など	た険な場所から高齢者等は避難・避難に時間がかかる高齢者や障がいのある人は危険な場所から避難を開始する。	・大雨警報 (土砂災害)・洪水警報・氾濫警戒情報・キキクル (危険度分布)「警戒」(赤)				
2	大雨・洪水・高潮 注意報 (気象庁が発表)	気象状況悪化	自らの避難行動の確認! ・ハザードマップで自宅などの 災害リスクを把握し、状況を 確認。	・大雨注意報・洪水注意報・氾濫注意情報・キキクル(危険度分布)「注意」(黄)				
1	早期注意情報 (気象庁が発表)	今後気象状況悪化の おそれあり	災害への心構えを高める	•早期注意情報 (警報級の可能性)				

気象庁がホームページで公開しているキキクル(危険度分布)では、大雨による洪水・浸水害・土砂 災害の危険度を色分けして掲載しています。水害時に適切な避難の判断・行動にお役立てください。

※防災気象情報などの表記については、現在、気象庁および国土交通省で見直しを実施中であり、今後変更が予定されています。



情報は皆さんを守る命綱です。テレビ、ラジオ、インターネットなどから正確な情報を 入手しましょう。

テレビ(地上デジタル放送)

ご家庭のテレビのリモコンのdボタンを押すとL字 画面に情報が出ます。

ラジオ

通常のラジオだけでなく、パソコンやスマート フォンからも放送を聞くことができます。

インターネット

インターネット上では、様々な防災情報が発信されます。 パソコンやスマートフォンを使いチェックしましょう。

- ●わが街ガイド浪江(防災情報) https://www2.wagmap.jp/namie/
- ●防災情報(気象庁) https://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html
- ●防災に関する情報(福島地方気象台) https://www.jma-net.go.jp/fukushima/
- ●河川流域総合情報システム(福島県) https://kaseninf.pref.fukushima.jp/gis/
- ●防災情報提供センター(国土交通省) https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/

浪江町からの情報伝達手段

浪江町からも以下の手段を使って、災害に関する様々な情報(避難情報など)を皆様にお知らせします。

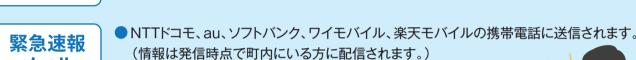
メール

SNS

メール

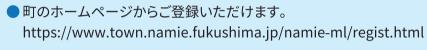
マガジン

- ●屋外スピーカーから放送を流します。 ● 戸別受信機※をお持ちの方はそちらからも放送が流れます。 ● 防災行政無線電話応答サービスでも放送された内容を確認できます。 電話番号:0240-35-5160(通話料は有料です)
- ヤフーサービス上でも町からのお知らせを確認することができます。 ヤフー 町のホームページが繋がりにくいときなどに活用してください。 サービス

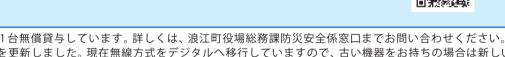


●サービスに登録し、フォローしていただくと、ご利用いただけます。 「つながろうなみえ」で検索してください。 (Facebook)

https://www.facebook.com/tsunagaro.namie/



また機種によっては設定が必要なものや受信できないものもあります。



※戸別受信機は、1世帯・1事業所につき1台無償貸与しています。詳しくは、浪江町役場総務課防災安全係窓口までお問い合わせください。 ※戸別受信機は、平成28年11月に機器を更新しました。現在無線方式をデジタルへ移行していますので、古い機器をお持ちの場合は新しい 機器へ更新をお願いします。

マインタイムラインの作成

台風や大雨のような風水害はあらかじめ接近を予測できる災害です。大雨時に「いつ」「だれが」 「なにをするのか」を家族と話し合って決めておきましょう。

警戒レベル		①必要な行動にチェックを つけましょう。	②その他必要な行動があれば、 空欄に記入してください。				
	緊急 安全確保 ^(町が発令)	√テレビやラジオをつけたまま 防災気象情報を確認					
5		✓外に出ず、自宅内の少しでも 安全な場所へ避難	_				
		✓ 自主防災組織へ安否報告					
~~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~							
	`啦##+比二	☑防災情報を確認					
4	避難指示 ^(町が発令)	✓避難所や安全な親戚・知人宅に避難✓自宅の2階へ避難					
		(2階まで浸水が及ぶ場合は避難所などへ避難)					
3	高齢者等 避難 ^(町が発令)	✓避難所の開設状況の確認✓防災情報を確認					
		☑非常時持ち出し品を手元に準備	✓				
		✓ 避難を開始✓ 自主防災組織へ避難の状況報告					
	十五。洪北	✓避難方法と避難先の確認	✓				
7	大雨·洪水 高潮注意報	✓避難先(親戚・知人宅)に連絡✓避難に時間がかかる方は避難の準備	✓				
	(気象庁が発表)	☑避難しやすい服装に着替える	✓				
	早期 注意情報 (気象庁が発表)	✓ 天気予報を確認	✓				
1		✓ 自宅や周辺を確認(家の点検・補強)✓ 家族の予定を確認					
•		☑					

コラム(地域の防災訓練、防災活動に参加しましょう)

大規模災害発生時には、「公助」による対応には限界があるこ ○○○○┗災研修会 とから、住民が自らを災害から守る「自助」、地域社会がお互い を守る「共助」という防災の考え方の普及・啓発に努め、地域の 防災力の強化することが必要です。過去の災害から防災活動へ の参加意欲を高め、防災訓練、防災活動へ参加しましょう。



-3。避難行動ほういて

もぬれる。ワイパーを速

避難行動の種類

避難行動は「水平避難(立退き避難)」または「垂直避難(屋内安全確保)」があります。

今いる危険な場所から可能な限り遠くにある安全な 場所へ向かうこと。

水平避難 (立退き避難)



立退き避難をついて

大雨が予想されるときは、浸水想定区域(それ以外であって

も、低い土地や地下空間)の外へ早めに立退き避難。

町が指定している避難所に行くことだけが避難ではありません。 立退き避難は下の3つの行動があります。普段からどこへ避難するか家族で決めておきま しょう。











避難するときは



4. 大雨に備える

■情報を集める(情報の入手先をご確認下さい) =

○テレビやラジオ、スマートフォンやパソコンなど、多様な 手段で防災気象情報を入手する。

■ハザードマップを確認する

○ハザードマップで自宅の周辺の浸水被害を予測、避難所情報 などを確認する。

■ 大雨から家を守る

家屋の浸水被害を軽減する

家庭にある物を利用し、家屋への浸水を防ぎましょう。玄関などの出入口や、床下への 浸水防止の対策を行いましょう。



出入り口は長め

の板などを使用

アンテナやエアコンの

室外機などは飛ばない

ように固定

プロパン

ガスボンベ

し、浸水を防ぎ ます。

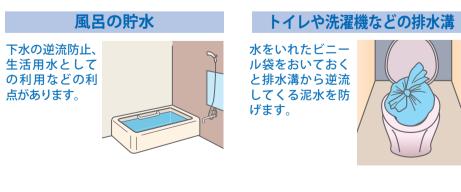


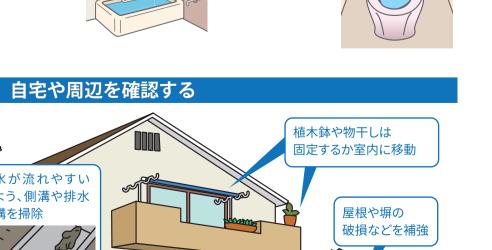
生活用水として

点があります。

水が流れやすい

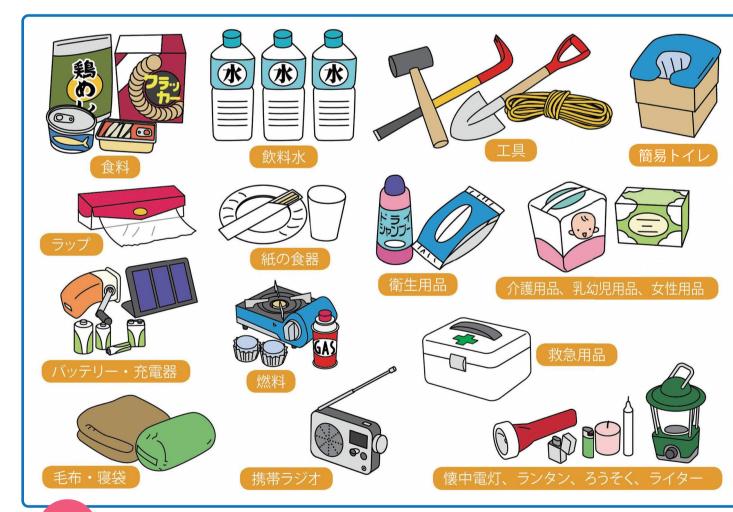






■ 各家庭の備蓄品

備蓄品は、家族構成などを踏まえて必要なものを準備しましょう。 備蓄品は最低でも3日分を、できれば1週間分程度備えておくと良いでしょう。



POINT 食品・水、日用品(紙類)などは普段から多めに買っておき、ローリングストック (ランニングストック)の形で備えましょう。

■ 非常時持ち出し品 -

非常時持ち出し品は、自宅を離れて避難する際に持ち出す最小限の必需品です。 貴重品以外は、あらかじめリュックに入れ、持ち出しやすい場所に置いておきましょう。

☑ 食料(缶詰、アルファ化米など)	✓ 飲料水	✓ 着替え(防寒着含む)
☑携帯電話及び充電器	✓ヘルメット	☑軍手
☑ 懐中電灯・ランタン	▽ 携帯ラジオ	✓ ナイフ(多機能型のもの)
☑タオル、ティッシュペーパー	▽ マスク	☑救急医薬品などの必要なお薬
☑生理用品、紙おむつなど	☑電池・バッテリー	☑健康保険証のコピー
☑ 現金・貴重品 (預金通帳、印鑑など)	√ その他必要なもの()

※あらかじめ書き出しておきましょう